

潜入!! 製作現場 調査員

途ちゅアフター

第13回 >>> 美術展覧会の設営



トチュー調査員

市内のいろいろな場所に潜入してはや一年がたちました。今回は展覧会を準備する様子を見てきたよ。美術作品の展示ってどんなふうに行われているんだろう



お手製のチラシと室内のレイアウト図

沼南庁舎の2階にある郷土資料展示室では、市が所蔵する美術作品の展覧会が定期的に開催されています。展覧会の準備は、企画内容を考えることから始まり作品選定を行います。併せてPRのためのチラシ制作、著作権の承認申請、展示室内におけるレイアウト図の作成なども必要になります。さらに、作品保護のために温度・湿度・照度を一定に保つことも重要なようです。美術に関心が薄いかたにも楽しんでもらえるように、毎回工夫を凝らしているようで、今回のおすすめは室内の一角に設置した解説動画の視聴コーナーです。



貴重な作品を扱うときはやっぱり白手袋なんだね!

実際に作品を展示する際は、細心の注意を払いながら丁寧に扱われます。室内では、ボールペンなどのインク系の筆記用具でなく鉛筆を使用することや、時計や指輪などの装飾品を外して白手袋を着用することも、全て作品を傷つけないようにするための配慮です。

着物の作品では、柄の配置や配色などを存分に楽しめるように、裁縫用の絹糸を使い、しわなく美しく展示をしていたのが印象的でした。

また、作品を紹介する「キャプション」を固定するために、トンカチで小さいピンを打っていく作業もなかなか繊細。真っすぐ打つにはコツがあるようで、試しに一本打たせてもらいましたが、ピンが大きく曲がってしまい大失敗でした。



トンカチ使いもお手のもの

脚立の上って照明の調整

展示作業も無事終わり、展覧会は絶賛開催中です。すてきな美術作品を鑑賞しながら、いつもとは違うぜいたくなひとときを過ごしてみたいか。入場は無料ですので、気軽にお友達やご家族を誘ってみてもいいかもしれません。ご協力いただいた文化課の皆さんありがとうございました!

トチュー調査員の もっと知りたい!

Q1 今は、どんな作品を展示しているの?

A 第30回を迎える今回の展覧会は、人間国宝である芹沢銈介の作品の中でも「人」にちなんだ作品を6月30日(日)まで展示しています
※月曜日は休館
詳しくは市のホームページをご覧ください 市ホームページ



Q2 市が所蔵する美術作品はどんなものがあるの?

A 柏市民であった故・砂川七郎氏がコレクションしていた芹沢銈介のびょうぶやのれんなどのほかに、棟方志功の版画、柏市にゆかりのある高島野十郎の洋画などおよそ800点上ります。7月にパレット柏で行われる「早川義孝展」でも市の所蔵絵画作品が見られます

【問い合わせ】 広報広聴課 ☎7167-1175・FAX 7166-8289